

平成29年度第1回 山陽小野田市総合教育会議議事録

- 1 日 時 平成29年4月14日（火曜日） 14時開会 16時閉会
- 2 場 所 市役所3階第2委員会室
- 3 出席者 市長 白井博文 教育委員長 砂川 功
教育委員 竹田佳枝 教育委員 棟久佳子
教育長 江澤正思
- 4 欠席者 教育委員 永山純一郎
- 5 市長、教育委員会の委員（教育長を含む。）及び傍聴人を除き、会議に出席した者の氏名
成長戦略室室長 大田宏 副室長 大谷剛士 成長戦略室 福田淑子
教育部長 尾山邦彦 教育総務課長 古谷昌章 学校教育課長 宮内茂則
社会教育課長 和西禎行

6 傍聴人 なし

7 議事

(1) 開会

(2) 議事

① 新市長へ引き継ぐべき事項について

(3) 閉会

(1) 開会

○大田成長戦略室長

総合教育会議は首長が設置するものです。本来は市長部局が事務局を持つものですが、昨年までは委任という形で教育委員会が事務局を持っていました。4月から市長部局、成長戦略室が所管することになりました。よろしくお願いします。

○白井市長

事務局が変わるとのことですが、仕事のイメージはできていますか。

○大田成長戦略室長

事務局の仕事には、まず日程調整があります。それと議題の調整です。議題については、この会議の要綱で、市長と教育長が協議して議題を決定するとあります。

○白井市長

議事録については、どのようになりますか。

○大田成長戦略室長

議事録を作るのは、事務局です。議事録は、会議が終わり次第、できるだけ早く作成します。

○白井市長

発言者の名前は どうしますか。誰の発言が分かるようにするのですか。

○大谷成長戦略室長

公開する方向です。

○白井市長

了解しました。

○江澤教育長

総合教育会議のいろいろな考え方は地教行法（地方教育行政の組織及び運営に関する法律）に書いてあります。その中で「総合教育会議において、その構成員の事務の調整が行われた事項については、当該構成員はその調整の結果を尊重しなければならない。」とあります。拘束力を持つものではないが、市長と教育委員会が胸襟を開いて語り合っ て課題に対して共通認識を持つことが大切だということだと思います。

○白井市長

教育委員会、市長部局の作業に影響を残すものだけ議事録を作っ てはどうかという考え方もあります。残りは、全部フリーの意見交換としてみてはどうかと思いますが、竹田教育委員、どう思われますか。

○竹田教育委員

議事録が残るということで、一言一言考えながら発言をしてきました。もし議事録が無いなら遠慮せず発言できるという側面もあると思います。

○砂川教育委員長

特定の話題だけを議事録に載せるのは不公平ではないかと思っ ます。

○白井市長

議事録作成上の注意事項のルールはあるのですか。

○大田成長戦略室長

議事録の作成について、地教行法には「地方公共団体の終了後、遅滞なく、総合教育会議の定めるところにより、その議事録を作成し、これを公表するように努めなければならない。」とあります。議事録と書いてあるので、議事概要ではダメではないかと思っ ます。

○江澤教育長

教育委員会会議の議事録は発言した方の言葉を一語ずつそのまま記載するのではなく、会議で話していることが伝わるような作り方をしています。要点筆記まで下げるといけません、言葉を逐語で全部きちんと起こすではありません。教育委員会方式で、内容に食い違いがないように議事録を作っ てはどうかでしょうか。

○白井市長

逐語訳では無く、概要とまではいかないもの。起こす人にその辺りは任せて、会議終了後には、該当者に、発言者をチェックしてもらおうという形で議事録を仕上げていくということでしょうか。

○全員

(了承)

(2) 議 事 ①新市長へ引き継ぐべき事項について

○白井市長

それでは、今日の議題についてです。議題は 1 つだけです。新市長への引継ぎ事項です。教育委員

会事務局に引継ぎの冊子をまとめてくれています。たくさんありますが、教育委員会のポイントはどこにありますか。2, 3挙げてください。

○江澤教育長

現在整備中の埴生小中学校のエアコンの件だと思います。いろんな経緯があって予算化されていません。建設委員会でも話題になりました。新しく建てる校舎、改築校舎についてはエアコンを整備していくという方針をもつべきではないかと思います。埴生については、今年度の実施設計に反映させていきたいと思っています。

○白井市長

エアコンが不可欠ということですね。教育環境の整備ですね。もうひとつ付け加えたとしたら何かありますか。

○江澤教育長

学校教育と社会教育の融合があります。その中で、公民館に新しい役割を持ってもらい、地域づくりの可能性を広げていきたいと取組んでいるところです。公民館の機能をアップさせていくことが、それが教育委員会だけでなく地域の第二行政的な役割を果たしていかなければいけない、そのためには公民館がどのように変容していかなければいけないか、という協議を行っています。地域で循環する社会を作っていくためには、公民館がその拠点になるしかないと思っています。公民館が社会教育の公民館から飛躍していくべきではないか。そのためには職員の立場を拡充していく必要があるのではないかと思っています。できるなら正規職員の配置をおねがいをしたいと思います。

○白井市長

コミュニティ・スクールをはじめとした取組みのことですね。尾山部長何かありますか。

○尾山部長

きらら交流館のこれからのあり方だと思います。あとは、避難所の問題です。学校施設の避難所の整備は進んでいますが、その他の施設については、進んでいない状況があります。

○白井市長

了解しました。新市長にしっかりと引き継いでいきます。新市長の第1回目の総合教育会議も議題を整理して、なるべく早く、開催してください。では、今日は、以上で終了します。ありがとうございました。また、長い間、たいへんお世話になりました。改めてありがとうございました。

(3) 閉会 16時